



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互いにに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成25年(2013年)  
9月6日  
金曜日  
第119号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 子どもの「声」を 聴ける教師になろう

実は、子どもには二つの声があります。一つは、表出される声か、一つは、「表声」と呼びます。私たちは日々この声を受け止め、子どもに接しています。しかし、子どもは自分の気持ちや心も言葉に表出しているわけでもありません。表出したとしても、きかない声があります。それが二つ目の声、「心声」です。時にそれは沈黙という形で表れます。表情の変化となつて表れるときもありますし、発せられた表声と逆のこともあります。

## 医師をこころざす高校生のための「こころざし育成セミナー」を開催しました

県教育委員会が、県地域医療課と共催し、県内の高校生を対象として実施している「こころざし育成セミナー」が8月に県内の10か所の病院で開催されました。6年目を迎える今年は221人の高校生が参加しました。

### 医療現場を体験

参加した高校生たちは、医師や看護師から丁寧に説明を受けた後、実際に除細動器を使った電気ショックによる緊急蘇生や、シミュレータを用いて呼吸停止した患者の口にチューブを入れて酸素を直接送る気管内挿管など、医療現場の技術を疑似体験しました。

### 医師と懇談

病院長から県内の医師不足の状況や医師の仕事の意義を、また、若手医師からは医大受験の体験談等を伺いました。

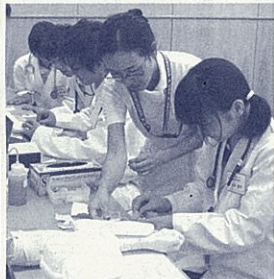
日頃見ることのない医療現場を見学したり、医師と直接話をしたりすることにより、医師を身近に感じ、医学部進学へのこころざしが大きくなった一日になったのではないのでしょうか。

### 未来の医師を育てる

昨年度、県内高校から医学部(医学科)に進学した生徒は約170人で、ここ数年増加傾向にありますが、本県の人口規模からすると医師数は適正数に足りていないとされています。

参加した高校生を迎える病院の充実した体験プログラムや医師からの体験談、メッセージからは、医療現場で真摯に後輩を育てようとする熱意が伝わってきました。

静岡県からより多くの優秀な医師が多く育つことを期待しています。



練習用機器を使った採血の体験



練習用機器を使った縫合の体験

【学校教育課高校教室】

分かつて聴く  
心声は聴こうとしない限り聴こえません。この子が本当に伝えたいことは何なのか、訴えたいことは何なのかを、どこまで受容と共感の気持ちで聴くことです。子どもは、先生だから相談するのはなく、自分の言うことを分かつてくれている「この先生」だから、心声を話してくれるのです。まずは、先生に話を聴いてほしいと思つている子どもに気付くことが大切です。

分かつて集める  
「おとなしく真面目な子で特に問題がなかった学校生活においては深刻に悩んでいる様子もなかった」  
子どもが学校で起こした事件の後、よく聞く言葉

葉です。残念ながら、この言葉からは、心声を聴こうとした教師の姿勢が伝わってきません。おとなしく真面目な子ほど、教師は声を掛ける必要があります。性格や様子だけでなく、物の考え方やこころの姿を多方面から集めることで子どもを理解は深まります。日頃から一人一人に関する様々な情報を集め、重ね、その子をまるごと理解するよう努めましょう。

分かつて聴く  
「おとなしく真面目な子で特に問題がなかった学校生活においては深刻に悩んでいる様子もなかった」  
子どもが学校で起こした事件の後、よく聞く言葉

分かつて集める  
「おとなしく真面目な子で特に問題がなかった学校生活においては深刻に悩んでいる様子もなかった」  
子どもが学校で起こした事件の後、よく聞く言葉

分かつて集める  
「おとなしく真面目な子で特に問題がなかった学校生活においては深刻に悩んでいる様子もなかった」  
子どもが学校で起こした事件の後、よく聞く言葉



代官直筆の鉄砲工作りのスケッチ

## 文化財シンポジウム 伊豆のタ・ヴィンチ 江川太郎左衛門 の理系力

文化財シンポジウム  
伊豆のタ・ヴィンチ  
江川太郎左衛門  
の理系力

ポジウム  
※申込み不要、参加費無料  
開催 13時から  
内容 江川邸(解説あり)、葦山反射炉、願成院の自由見学。  
※申込み不要、要入場料  
交通 江川邸・葦山反射炉へは、伊豆箱根鉄道葦山駅からバスを運行します(文化財シンポジウムの会場にて申込み)。願成院には徒歩にてお越しください。

文化財シンポジウム  
伊豆のタ・ヴィンチ  
江川太郎左衛門  
の理系力

文化財シンポジウム  
伊豆のタ・ヴィンチ  
江川太郎左衛門  
の理系力

文化財シンポジウム  
伊豆のタ・ヴィンチ  
江川太郎左衛門  
の理系力



実践NOTE 231

# いきいきと学ぶ 体育授業を目指して

静岡県立富士見小学校 教諭 築地 豊



動きのポイントを確認する(筆者)

## フラッグフットボールの特性

フラッグフットボールは、アメリカカンファレンスでプレーされるアメリカンフットボールの簡易化された陣取りゲームであり、腰に付けたフラッグを取ることでタックルの代わりにする。そのため安全に行うことができ、また、自分の達成度を点数化できるようにし、チームの仲間と相談しながら、毎授業後チェックしていきます。そして、攻撃と守備が明確に分かれることや、攻撃のたびにハードル(作戦会議)を持ち、それぞれの役割行動を決定するの、誰にでも活躍の場が与えられ、チームの戦術的な学習課題をクローズアップすることができるといった特性があります。

移動する際に、ボールを持って何歩でも動くことができるのでボール操作が苦手な子でも楽しくできます。そして、攻撃と守備が明確に分かれることや、攻撃のたびにハードル(作戦会議)を持ち、それぞれの役割行動を決定するの、誰にでも活躍の場が与えられ、チームの戦術的な学習課題をクローズアップすることができるといった特性があります。



タブレット端末を使い動きの確認

## 動きの価値付け

ボール運動を行うと、どのように動いてよいのか分からず、悩んでしまう子がいます。まず、子どもたちに「よい動きとはどのようなものか」「自分は今のどのような動きができ、次のような動きができるようになるにはよいのか」を明確にしながら作戦の練り直しを行いました。そこで、「動きの評価表」を作成しました。この表では、動きを「ボールを持ったとき」「パスができたとき」「ゴールしたとき」など、具体的な話し合いをしていくように練習しました。子どもたちは自主的に練習を始めました。

移動する際に、ボールを持って何歩でも動くことができるのでボール操作が苦手な子でも楽しくできます。そして、攻撃と守備が明確に分かれることや、攻撃のたびにハードル(作戦会議)を持ち、それぞれの役割行動を決定するの、誰にでも活躍の場が与えられ、チームの戦術的な学習課題をクローズアップすることができるといった特性があります。

## 動きを客観的に捉える

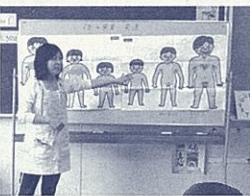
この実践後、マット運動などの他の単元でも、自分の課題を意識しながら練習する姿が見られるようになりました。

自分やチームの動きを客観的に捉えられるよう、練習する姿が見られるようになった。

実践NOTE 232

# 「まずは心の手当から」

静岡県立浜松特別支援学校磐田分校 養護教諭 上村亜紀子



中学生を対象とした保健授業(筆者)

本校は小1から中3までの児童生徒が在籍する特別支援学校です。様々な理由で併設の知的障害児施設設立磐田学園に入所し、集団生活を送りながら通学しています。

本校は小1から中3までの児童生徒が在籍する特別支援学校です。様々な理由で併設の知的障害児施設設立磐田学園に入所し、集団生活を送りながら通学しています。

## 心の傷に手を当てる

知的な障害に加え、家庭から離れた生活をしなくてはならないという点で、心と体の両面に多くの困難を持っています。また、卒業後も家庭に戻らず次の進路に進む子が多いため、自分の力を大切にし自己管理できる力を付けるための保健室の役割は重要になります。

本来ならば手当が必要でない症状でも、頻繁に来室し、手当を求めると児童生徒がいます。ときには自分で傷を作ってしまう。日に数回来室する子もいます。そんな児童生徒に対しては、まず寄り添い、受け止め、声を掛け、手当をすることで、その子が安心して学級に戻れるよう支援をしています。

また、児童生徒は常に学園で集団生活をしているため、感染症対策がとても重要です。年間を通して、学校での毎朝の健康観察で体温測定を行い、感染の早期発見に努めています。

## 自分の体への関心を高めるために

児童生徒に対しては、まず自分の体に興味を持つことができるように、保健学習・全校集会、掲示板などを利用して、養護教諭からの健康教育を行っています。

児童生徒は常に学園で集団生活をしているため、感染症対策がとても重要です。年間を通して、学校での毎朝の健康観察で体温測定を行い、感染の早期発見に努めています。



毎朝の学園での打ち合わせ



繰り上げた作戦を実行する

## 育ちの背景を踏まえた支援

このような児童生徒の特性や困難さを見極め、適切に安全な対応をするためには、磐田学園(以下、学園)との連携・情報交換が何より大切です。健康面に関する学園と学校の連携は主に学園保健師と養護教諭が窓口になっています。気になる児童生徒について随時直接顔を見て情報交換したり、養護教諭が保健室で行った手当をその都度保健師に報告し、経過観察をお願いしたりすることで早期回復に努めています。



工夫した掲示に生徒が興味を持つ



参加型、動きのある掲示で興味や関心を促す







### 教育相談 相談室から見てきた子どもたちの姿

#### 相談室の中で

来談時、うつむいて視線を上げることができなかった子が、帰り際に相談員の目を見つめ「ありがとうございます」と一礼し、部屋を後にしていきます。

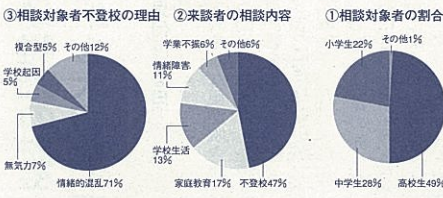
そんな姿を見る時、自己の内面に気付く、新たな一歩を踏み出そうとしている子どもたちへエールを送りたい気持ちで一杯になります。

子どもたちの苦しみは、県総合教育センターでは、沼津・静岡・掛川の3会場で、面接による相談を行っています。

今年度は、6月末まで228回、延べ375

子どもたちの苦しみは、県総合教育センターでは、沼津・静岡・掛川の3会場で、面接による相談を行っています。

今年度は、6月末まで228回、延べ375



ゆつくり、じつじつ。そんな子どもたちに必要なことは、まずは心を休められる環境を作っておけること。そのため「ゆつくり、じつじつ」子どもの気持ちに寄り添っていくことが大切。そして、いつの日か、子どもが一人で立ち自分の足で歩み出せるように一緒に考えていく姿勢が必要になります。

「人づくり支援課 教育相談班」

### 心をつなぐ「赤ちゃん力」シンポジウム開催!

～児童と赤ちゃんが関わる体験授業を参観してみませんか～

学校の授業で赤ちゃんに関わる体験を取り入れる活動が目まぐるしく注目を浴びています。赤ちゃんとその親の姿から、親子の絆、命の尊さを実感し、親への感謝の気持ちが強まるとともに自己肯定感が高まります。

■日時 10月25日(金) 午前9時30分～(半日のみ参加可)

■会場 【午前】浜松市立元城小学校(授業参観) 【午後】ホテルコンフォート浜松(シンポジウム) ※参加無料。要申込み。

■中・問 県子ども未来課 054(221)3485

### 第21回 図書館大会 参加者募集

#### ～伝えよう図書館の力 広げよう新たな可能性～

読書活動に携わる人々や図書館に関心を持っている人たちが集い、研修・交流します。

七つある分科会の一つ、いせひでこ氏の講演会では、「ルリユールおじさん」をはじめ、「木」をモチーフにおだやかで美しい絵本を描く、いせさんの作品に対する思いや、その制作過程を聞くことができます。その他分科会や詳細は当館ホームページを。次号でも御案内します。

■日時 10月28日(月)午前9時45分～午後3時45分

■場所 グランシップ(静岡市駿河区池田79-4)

■内容 午前:ライトトーク「図書館とまちづくり」 午後:分科会(7テーマ)

■対象 どなたでも参加可(参加費無料) ※要事前申込み。原則先着順(分科会ごとで定員あり)

■申込締切り 第3分科会(いせひでこ氏講演会) 10月17日(木)まで -その他の分科会 10月3日(木)まで

■中・問 県立中央図書館企画振興課 054(262)1246 054(264)4268

### ～ふじのくにの先生になりませんか～

## 中学生・高校生のための 教職セミナー開催

学校の先生って、どんな1日を過ごしているんだろう!? 先生になるための進路先は? どんな勉強をしていけばいいの? 先生の仕事のおもしろさって? 先生になってよかったと思ったことは? 若手教員が教員の魅力をたっぷり紹介します。

■日時 11月2日(土)午前10時～正午

■場所 東部会場:三島長陵高校視聴覚室(三島市文教町1-3-93) 西部会場:磐田信用金庫本店6階 あいホール(磐田市中央578-1)

■詳細・申込み 後日各学校へ配布する資料、県教育委員会ホームページを御確認ください。

【問い合わせ先】 静岡県教育委員会学校人事課 (小中学校班) 054-221-3783 (高校班) 054-221-3118 (特別支援学校班) 054-221-3150

HP <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/index.html>

### オペラおもひの講座参加者募集

#### オペラって何だろう?～誕生から現在まで～

新国立劇場オペラ研修所所長の木村俊光氏が、オペラ約400年の歴史とその魅力を分かりやすく紹介します。オペラの名曲の数々の演奏とお楽しみください。

■内容 ピアノ伴奏によるオペラの演奏と解説

■日時・会場等(各会場とも午後2時開演)

①12月8日(日)静岡文化芸術大学【定員580人】

②12月15日(日)しずぎんホールユーフォニア【定員440人】

③12月22日(日)沼津市民文化センター【定員500人】

※参加無料。要申込み(10月1日(火)から受付)。先着順。未就学児入場不可。

■中・問 静岡国際オペラコンクール実行委員会事務局 053(457)6446 E-mail opera@suac.ac.jp

### パワフルに、繊細に舞う「舞踊公演」

「舞踊公演」は県現代舞踊協会による新人公演です。踊り手の精神が見えるかのような舞いを体感してください。

★舞踊公演

日時 9/23(月・祝)

開場 15時

開演 15時30分

会場 月見の里学遊館(袋井市上山梨4-3-7)

※入場無料 要整理券

■中・問 佐藤典子舞踊研究所 053(833)5763

### 先陣を切るのは実力派「書道展」!!

「書道展」は静岡県のアマチュアの公募による書道の入選作品展です。毎年この高いレベルは観客に深い感動を与えてやみません。今年もとびきりの作品を御覧ください。

★書道展

会期 9/21(土) 9/29(日)

時間 9時30分～17時

※初日は開始式(10時)後

会場 クリエート浜松

時間 14時～16時

※参加費無料

■中・問 文化政策課 054(221)2254

### 静岡県教育委員会 フェイスブックページ始めました!

県教委では、フェイスブックを活用し、県教委の活動や各種イベント等の情報を発信しています。是非御覧ください。県教委HP内のバナーからアクセスを。

※将来的な活用展開に向けた試行であり、平成25年9月末までの公開です。

■中・問 教育政策課 054(221)3391



### 「人形浄瑠璃 文楽」

10/13(日) 昼の部13:30～/夜の部18:30～

グランシップ 中ホール・大地 全席指定/一般3,500円 昼夜通し券6,300円 子ども・学生1,000円 中高生観賞プラン800円

夜の部:「生写朝顔話～明石船別れの段～笑い薬の段～宿屋の段～大井川の段」

夜の部:「花魁四季寿 万歳・鶯娘」「ひらかな盛衰記～松右衛門内の段～逆櫓の段」

ユネスコ無形文化遺産に指定され、日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。

海外でも人気の舞台を、県内ではグランシップだけで鑑賞することができます。

今年も静岡県が舞台となっている演目の上演もあり、はじめての方でも楽しめるチャンス。

昼の部と夜の部の間には「わかる文楽入門講座」も開催し、出演者の実演と解説を間近でお楽しみいただけます。

【チケットのお申込み・お問い合わせ】グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000(営業時間/10:00～18:30) 主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県、公益財団法人文楽協会